

あなたと博物館

松本市立博物館ニュース No.213 2017.11.1

旧松本区裁判所庁舎が **速報** 国の重要文化財に指定されます



国の文化審議会は、10月20日に、松本市歴史の里に保存されている旧松本区裁判所庁舎（県宝 旧長野地方裁判所松本支部庁舎）を新たに国の重要文化財に指定するよう、文部科学大臣に答申しました。「明治期に全国で数多く建てられた和風の裁判所建築のうち、もっとも完成度の高い遺例として歴史的価値が高い」と評価されています。今後、官報で告示され、正式に重要文化財に指定されます。詳細は、正式に指定された後に誌面でご報告します。

もくじ

誌上博物館	◇ 被災した文化財をどう守るか……………	2
博物館TOPICS	◇ 第22回夏期教育セミナー 開催報告……………	3
	◇ 「収蔵品展～寄贈資料の物語り～」によせて……………	3
ガイドコーナー	◇ はんでんぼく……………	4

美しく生きる。
健康寿命延伸都市・松本

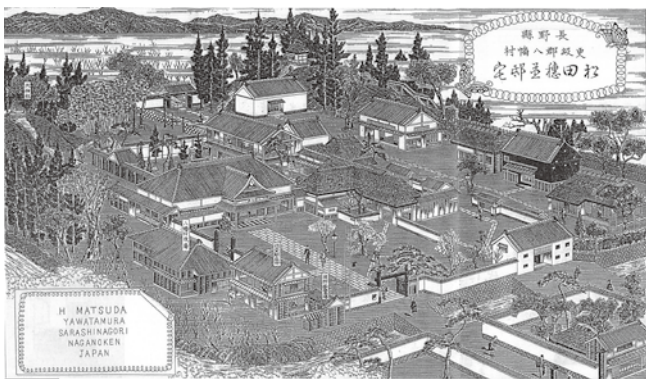
被災した文化財をどう守るか ～千曲市松田家住宅文化財救出作業に参加して～

1 松田家住宅とは

千曲市の武水別神社は地元で「やわたの八幡さま^{はちまん}」と呼ばれて親しまれている川中島地方随一の大神ですが、この神社の神職を約 500 年以上に亘って務めたのが松田氏です。

松田家住宅は神社の西側にあり、戦国期から残る土塁を四方に構え、中世の神主の館のつくりを現代にとどめる全国的にも珍しい建物でした。主屋と斎館は長野県宝に指定されています。

千曲市では松田氏より建物を寄贈され、平成 31 年度に一般公開する予定でした。



明治 34 年 (1901)「長野縣更級郡八幡村松田徳並邸宅」

2 今回の火災について

平成 29 年 9 月 6 日 (水) 18 時 20 分 (推定) に、主屋軒下でのスズメバチの駆除作業中に出火。主屋・新座敷・斎館・料理の間が全焼し、味噌蔵が半焼しました。報道によれば、煙幕による作業中に殺虫スプレーが引火したとされています。なお、中世からの古文書等を含む重要な文化財は収蔵庫に移されており、無事でした。

3 救出作業の概要

長野県教育委員会による呼びかけにより、県内各地の自治体・博物館等に所属する学芸員が 30 名集まり、9 月 25 日 (月) に第一回の救出作業が実施されました。

参加者は、回収班・廃棄物班・資料班・輸送班・洗浄班・撮影班に分かれて作業を開始しました。松本市の博物館から参加した二人は、回収班で焼跡からゴミと資料を分別する作業にあたりました。まだ暑さが残る中、大量の炭・瓦・モルタルを取り除いていくのは思いのほか重労働でした。我々が作業を行ったのは主屋の南側部分で、千曲市の担当者によれば、松田氏の私物が中心に収蔵されていたようです。時折出土するのは書籍や金属製品・布類などで、徹底的に焼けたように見え

る中でも、意外と残存しているという印象でした。



北門から主屋、斎館の焼失跡を望む

回収した資料は資料班によって分別され、洗浄班によって整理された後、千曲市で保存の可否を決定していきます。



回収班の作業状況

4 おわりに

現場の焼跡は想像以上にひどく、木造文化財に対する火災の恐ろしさをつくづく感じました。しかし、作業を進めていくうちに、復元の可能性も思ったより大きいことに気づきました。文化財を収蔵する施設においては、日頃から収蔵場所等、資料の情報をいかに把握しているかが復元作業に大きく影響すると思われます。火災の防止に努めるのはもちろんですが、地震や事故等による被災も考えられるため、損失を最小限にとどめるための準備をしておくことが必要だと感じました。その意味では、今回、他の市町村の学芸員と意見交換しながら、救出作業に従事できたことは非常に有意義な経験でした。

(松本市立博物館 学芸員 / 赤羽裕幸)

第22回夏期教育セミナー 開催報告

第22回夏期教育セミナーが8月19日、20日に開催されました。このセミナーは、旧制高校の教育や文化を知り、今後の教育に生かすことを目的に、旧制高校出身者も含む市民・学生・研究者の交流の場として、毎年開催されています。主催を旧制高等学校記念館及び旧制高等学校記念館友の会、主管を旧制高等学校資料研究会とし、有意義で楽しい会になるよう協力しながら準備を行い、当日を迎えました。

セミナーの日程は、1日目が基調講演会及び記念イベント、2日目が研究発表会で、2日間にわたって開催されました。今年のテーマは「女学生」であり、1日目の基調講演会では、京都大学大学院教授の稲垣恭子先生に「男子の教養・女子の教養—旧制高校と女学校—」という題目で講演をしていただきました。また、記念イベントでは、旧制松本高等女学校（現在の松本蟻ヶ崎高校）の卒業生のお二人に当時の様子についてお話を伺いました。その後は、稲垣先生も交えた質疑応答も行われ、当時のさまざまな貴重なお話を伺うことができました。



稲垣恭子氏

1日目終了後には懇親会が行われました。懇親会は、夏期教育セミナー出席者同士が交流を深める場となりました。

2日目の研究発表会では、3名の研究者により、女学生に関する研究発表が行われました。

研究発表会の後は、記念写真撮影、旧制高校卒業生による体験談を交えた旧制高等学校記念館展示と旧校舍見学会、旧制高等学校研究情報交換会が行われました。

夏期教育セミナーをきっかけに、旧制高等学校記念館のことを知り、「来年も来ます。」と言ってくれる方が多く、非常に嬉しく思いました。今年も大学生や大学院生の方々が参加してくださり、若い方にも旧制高校について興味を持っていただける場になったと思います。夏期教育セミナーの来場者は年々増加しており、今後もさまざまな方にお越しいただけるような会にしていきたいと考えています。

（旧制高等学校記念館 学芸員 / 石原花梨）



夏期教育セミナーの様子

「収蔵品展～寄贈資料の物語り～」によせて

当館では、毎年、市の内外を問わず、多くの方々から資料のご寄贈をいただきます。お話をいただいた資料の全てをお受けできるわけではありませんが、当館は皆さまから寄せられた資料によって支えられています。

資料寄贈のご相談をいただくと、私たち学芸員は、電話でお話を聞いたり、お宅に伺って資料を直接拝見します。そうした中で、所有している資料がいつ頃のものなのか、だれが持っていたのか、どのような経緯で手元にあるのか等、できるだけ多くの情報を収集します。それは、私たちが、資料がもっている情報にも価値を見出しているためです。

例えば、ここに一振りの刀があったとします。何も情報がなければ、当館で寄贈を受け、展示をすることは難しいでしょう。しかし、所有者が松本藩士の末裔であったとしたら、状況は変わります。さらに、話を聞き進める中で「藩主からもらったと言われている」とか、「読めないけれど、古い手紙もあったはず」といった情報が得られれば、それらを糸口にして刀の位置づけを明確なものにしていくことができます。それにより、この刀

は松本藩の関係資料として当館の展示で活躍することになるかもしれません。博物館にとって、資料にかかわる情報はとても大切なものなのです。

くわえて、調査中に寄贈者とやり取りをしていると、ふと資料にまつわる思い出や家族の歴史を聞くことができます。資料を寄贈するに至る経緯は人それぞれですが、そこには何らかの「物語り」があるものです。こうした話は普段、展示として前面に出てくることはありませんが、資料と所有者の「物語り」を聞くと、やはり資料に対して親近感がわくものです。

12月10日(日)まで当館で開催中の「収蔵品展～寄贈資料の物語り～」では、今年度になって寄贈を受けた資料の一部を、資料の情報はもちろん、資料にまつわる「物語り」とともに紹介しています。本展示会をご覧いただくことで、皆さまに博物館と展示資料をより身近に感じていただければと思います。

（松本市立博物館 学芸員 / 高山直樹）



松本藩士が所持していた守り本尊

窪田空穂記念館から

☎0263-48-3440

将棋教室

窪田空穂生家を会場に将棋教室を開きます。プロ棋士4名を迎えての教室です。プロから将棋の手ほどきを受けるよい機会ですので、ぜひご参加ください。

日 時 11月18日(土)
①午前の部(小・中学生) 午前10時～正午
②午後の部(大人/段位のある小・中学生) 午後1時～4時
会 場 窪田空穂生家(窪田空穂記念館向かい側)
講 師 石川陽生 七段 他3名
定 員 ①50名ほど ②30名ほど
料 金 無料
申 込 み 11月5日(日)以降に電話で窪田空穂記念館へ

重文旧開智学校校舎から

☎0263-32-5725

ロビー展「開智学校と教育勅語」

現在、旧開智学校校舎で行っている教育勅語に関する研究成果を3期に分けて紹介します。

会 期 I 期 10月28日(土)～11月19日(日)
II 期 11月22日(水)～12月13日(水)
III 期 12月16日(土)～平成30年1月8日(月・祝)
会 場 松本市立博物館 1階ロビー
料 金 無料(市立博物館の常設展示は有料です)

重文馬場家住宅から

☎0263-85-5070

企画展「松本平の御柱」

内田地区の御柱と松本平の御柱、諏訪社系のものとは違った御柱の魅力を紹介しします。

会 期 12月2日(土)～1月14日(日)
会 場 重要文化財馬場家住宅主屋
料 金 通常観覧料

お茶席の会

日 時 11月12日(日)午前10時～正午
会 場 重要文化財馬場家住宅主屋
担 当 松風の会(表千家)
料 金 通常観覧料

そば打ち体験教室

日 時 11月26日(日)午前9時～正午
会 場 馬場家住宅主屋
料 金 800円
そ の 他 内田お菜取りまつりと同時開催

馬場屋敷ピアノリサイタル

日 時 12月16日(土)午後2時～3時30分
会 場 馬場家住宅主屋
演 奏 者 ヤスヨ・テラシマ・ヴェアハーン氏
料 金 無料

松本民芸館から

☎0263-33-1569

企画展「くらしに生きるざるかごと布」

日本・世界のくらしの中のざるかごと染織品を併せて展示します。生活の豊かさとは何か、美しさとは何か、丸山太郎のまなざしをご覧ください。

会 期 10月31日(火)～2月25日(日)
※月曜休館、休日の場合はその翌日
会 場 松本民芸館
料 金 通常観覧料(大人300円、中学生以下・70歳以上の松本市民無料)

講演会「倉敷と民芸」

倉敷堤窯の陶芸作家でもある武内真木氏から、倉敷のまちと民芸についてお聞きします。

日 時 11月19日(日)午後1時30分～3時
会 場 松本民芸館
定 員 30名(要予約)
料 金 通常観覧料(大人300円、中学生以下・70歳以上の松本市民無料)
講 師 武内真木氏(岡山県民藝協会会長)
申 込 み 11月5日(日)以降に電話で松本民芸館へ

体験講座「しめ飾り作り」

お正月を迎えるためのしめ飾りを作ります。わら細工の体験を通して先人たちの知恵、「わら文化」を学びます。

日 時 12月17日(日)午前9時30分～正午
会 場 松本民芸館
定 員 10名(要予約)
対 象 初心者、小学生以上
料 金 300円(材料費)
講 師 長野県民藝協会員 竹下賢一氏
申 込 み 電話で松本民芸館へ

歴史の里から

☎0263-47-4515

浅間温泉たてもんの見学会

1級建築士の解説により浅間温泉の旅館建築をめぐります。

日 時 11月19日(日)午後1時～4時
集 合 本郷公民館視聴覚室
定 員 20名
料 金 無料
講 師 川上恵一氏、藤松幹雄氏、米山文香氏、北村浩康氏(いずれも1級建築士)
申 込 み 11月5日(日)以降に電話で歴史の里へ

親子はた織り体験講座

はた織り機で18センチ×22センチほどの布を織ります。

日 時 11月26日(日)午前10時～正午、午後1時～3時の2回
会 場 松本市歴史の里
定 員 午前、午後 各回5組
対 象 小学生以上の親子(2人1組)
料 金 1,000円(材料代込み)
講 師 川上裕子氏(なかや工房にて裂き織りを主宰)
申 込 み 11月5日(日)以降に電話で歴史の里へ

あとがき

旧制高等学校記念館には友の会があります。夏期教育セミナーは旧制高等学校記念館と友の会が主催で行っている事業です。

第22回夏期教育セミナーを体験して、友の会をはじめ、世話人のみなさんや市民の方々等、たくさんのご協力があって開催できている会なのだと実感しました。(K.I)

あなたと博物館 No.213

発行年月日/平成29年11月1日
編集・発行/松本市立博物館
〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133
URL: <http://www.matsu-haku.com>
e-mail: mcmuse@city.matsumoto.lg.jp



印刷 川越印刷株式会社